

厚生労働省造血幹細胞移植医療体制整備事業による  
「造血幹細胞移植に携わる歯科医師および医療従事者（看護師，歯科衛生士）へのセミナー  
—中国ブロックにおける充実化と均てん化」のご案内

造血幹細胞移植医療体制整備事業は，造血幹細胞移植に関する人材育成等を行うことにより，地域の造血幹細胞移植医療体制の底上げを目指しています。造血幹細胞移植医療においては原疾患および治療に伴う易感染性から口腔内感染巣の管理に厳重な注意を払う必要があります。また化学療法に伴う口腔粘膜障害（重度の口内炎）が頻繁に発生することからこれに対する感染および疼痛管理が重要です。

この背景から，造血幹細胞移植地域連携事業（中国ブロック）の一環として，下記の通り，拠点病院（岡山大学病院）から，造血幹細胞移植の口腔内管理を専門とする歯科医師，歯科衛生士をブロック内の病院に派遣し，セミナー等を行うことにより，現場の医療の継続的な充実化と均てん化を図る事業を行っております。セミナーでは実習や質疑応答にも重点を置きます。

造血幹細胞移植医療に携わる関係各位におかれましては，本診療支援事業の活用をご検討くださいますよう，よろしくお願い申し上げます。

対象とする施設：

中国ブロック内で造血幹細胞移植医療にかかわる病院  
(他院での移植を念頭に置いた化学療法のみを行っている病院も対象とします。)

※ブロック外の施設はご相談ください。

対象職種：

看護師・歯科医師・歯科衛生士を中心とします。これら職種がスムーズにチーム医療を展開できるようにするため，医師が対象となっても構いません。各施設の状況に応じたセミナーを行います。

内容：

以下の内容を中心とします。実際にブロック内の施設に赴き，その病院の実情に合わせた実際的な内容とします。診療支援後，各病院で自律的に充実化を図れることを目標とします。

- ①移植患者への歯科介入の意義（初回寛解～地固め療法，造血幹細胞移植，移植後フォローアップにわたってそれぞれの時期での意義を解説）
- ②口腔内への介入のタイミング、時期に合わせた介入方法
- ③移植後の口腔有害事象への取り組み（特に口腔粘膜障害に重点を置いた）
- ④口腔感染管理
- ⑤移植後慢性口腔 GVHD への対応
- ⑥歯科の専門性を活かしたチーム医療の展開
- ⑦口腔ケア（移植後合併症への対策と対応を中心など）の実習

事前に各施設の現状，問題及び課題について整理し，セミナー内容を相談させていただきます。

費用：本院の派遣医療スタッフの旅費は，本院にて負担します。